NaviTabi ロゲイニング向け

イベント当日運営チェックリスト・進行表【当日編 1/5：当日の時刻と判断ルール・早見】

▼ STEP 0：前日までにスタッフで決めて共有する「当日の時刻と判断ルール」

該当する選択肢を残して編集してください。S はスタート時刻、F はフィニッシュ閉鎖の時刻（S＋制限時間）です。表の時刻の下の欄（Excel では「実際の時刻」の列）に、ここで決めた時刻から数えた実際の時刻を書き込みます。項目と時刻は大会に合わせて書き換えてください。判断の基準がスタッフごとに違うと、参加者への説明と記録の扱いがそろいません。★はイベント主催者プランが必要な選択肢です。開催までの準備は「05 事前準備編」にまとめています。

① 時刻	開場：【　：　】／スタート S：【　：　】／表彰：【　：　】 制限時間：【　時間　分】／フィニッシュ閉鎖 F：【　：　】	※自動の一斉スタートの時刻は前日までに確定する。当日に変えても、プレイ画面を開いた参加者には反映されない（やむを得ず変えたら、プレイ画面を開き直してもらう）。制限時間と遅刻減点は、アプリのカテゴリーの設定と同じにする。
② スタート方式・受付・地図	スタート：【 自動の一斉スタート★ ／ 手動の一斉スタート ／ 個別スタート 】 受付：【 方式A ／ 方式B1★ ／ 方式B2★ ／ 方式B3★ 】 地図：【 最初から見せる ／ 作戦時間の開始まで伏せる★（方式B1〜B3） 】	※方式で変わる項目は、表の中で「自動の一斉スタート：…」のように書き分けている。地図を伏せる設定は「05 事前準備編」4ページ目の手順のとおり。
③ 開催可否・短縮の判断	判断する人：【 〇〇 】／判断する時刻：【 当日 〇:〇〇 】 告知の手段：【 大会ページ ／ メール ／ 申込サイトのメッセージ ／ SNS 】	※中止・短縮の基準（警報・雷・気温など）は事前準備で決めたものを使う。告知は、参加者が会場へ向かう前に届ける。
④ 判断する人と連絡手段	競技責任者（救済・減点・失格の判定）：【 〇〇 】／安全・捜索の判断（安全責任者）：【 〇〇 】 本部の電話：【　　】／スタッフ間の連絡：【 電話 ／ 無線 ／ グループ通話・チャット 】	※NaviTabiのイベント内メッセージ（送信はダッシュボードの「一斉メッセージ」から）はプッシュ通知されないので、プレイ画面を開いていない人は自分でメッセージを開くまで気づかない。中止や安全に関わる連絡は、電話・個別メッセージ・巡回など、届いたことを確かめられる手段で行う。連絡先は「08 スタッフ役割分担表」と同じにする。
⑤ 救済として認める記録	【 標準カメラの写真 ／ 目視と時刻の記録 ／ 紙の申告用紙 ／ 本部からの遠隔パンチ 】 スタート地点のスキップ：【 認める ／ 認めない（DNFにする） 】	※同じ症状には全員に同じ基準を当て、認めた理由は得点調整の理由欄や本部のメモに残す。
⑥ 失格・エリア違反	失格：【 〇分超過でDNF（手作業） 】 エリア違反：【 短時間で戻った・GPSのずれは不問 ／ 近道など有利を得たら減点 または DNF 】	※遅刻減点はアプリが計算する。〇分超過のDNFと、エリア違反の減点・失格はアプリが行わないので、結果画面で手作業で反映する。アプリが自動でDNFにするのは、自動で終了する時刻（制限時間＋1時間と8時間の長いほう）を過ぎたときだけで、その後はその人の位置も届かなくなる。
⑦ 未帰還のときの手順	電話を始める：【 フィニッシュ閉鎖の〇分後 】／捜索を始める：【 〇分後 】 通報を判断する人：【 〇〇 】／捜索に持っていく情報：【 最後の位置と時刻・連絡先・危険箇所 】	※ライブの位置には誤差と時刻のずれがあるので、電話と現地での確認を組み合わせる（ヘルプ「安全管理と未帰還対応」）。
⑧ 結果の発表	表彰：【 補正の途中の結果で行う ／ 確定してから行う 】／結果の公開：【 当日 〇:〇〇 ／ 後日 】	※順位は得点の高い順で、同点なら所要タイムの短い順。「ライブマップと結果リストを隠す」がオンの間、参加者はアプリの結果リストやリーダーボードを開けず、Webではイベントページ自体が開かない。

スタート方式で変わるところ

方式	地図を配るとき・スタート	遅れた人
自動の一斉スタート★（カテゴリーで開始日時を指定）	地図を伏せていたら「プレイを許可」に切り替える。開始5分前からプレイ画面を開いて、スタート地点の近く（約250m以内）で待つ。操作しなくても時刻に始まり、開始前はボタンを押しても反応しない	約1分を過ぎたら手動でスタートする。計時は設定した時刻から
手動の一斉スタート（アプリでは個別スタートと同じ設定）	地図を伏せていたら「地図表示まで許可」にし、号令の前に「プレイを許可」へ切り替える。号令に合わせて各自がスタート地点でスタートボタンを押す	着いた人から、スタートボタンを押す。計時と制限時間は押した時刻からなので、閉鎖までに戻れない人の扱いを STEP 0 の「⑥ 失格」で決めておく
個別スタート	手動の一斉スタートと同じ切り替え。スタート地点でスタートボタンが有効になるかを見て、順に送り出す	計時は押した時刻から

受付方式ごとの流れ

・**方式A（承認なし）**：参加者がイベントを開き、カテゴリーを選んで表示名を入れます。受付では表示名とカテゴリーを見るだけです。
・**方式B1**：受付に貼った参加受付QRを読んでエントリー番号を入れてもらいます。名簿CSVを取り込んでいれば表示名が自動で入り、同じ番号でチーム全員が受付できます。
・**方式B2**：4桁のイベント番号を案内し、アプリで参加申請するときに入れてもらいます。番号が合っていれば自動で承認されます。
・**方式B3**：事前に申請した人を参加者リストで承認します。当日の申請は本人を確かめてから承認します。

アナウンスで言わないこと

・「アプリに通知が届きます」とは言いません。イベント内メッセージはプッシュ通知されず、プッシュ通知で届くのは個別メッセージです。
・競技中のリーダーボードの順位を、正式な順位として読み上げません。
・写真の却下や得点調整を、競技中に「いま直しました」と約束しません。反映するのはフィニッシュ後です。
・確かめていないアプリの動きは言いません。迷ったら「本部に電話してください」と伝えます。

当日の配置（「05 事前準備編」の4つの役割と当日スタッフ）

・**統括責任者**：開催の判断、スタッフへの指示、競技説明、結果の確定と表彰を受け持ちます。
・**コース担当**：現地のQRの確認とCPの巡回を受け持ちます。競技責任者は、統括責任者かコース担当が兼ねます。
・**アプリ担当**：本部で運営コンソールとアプリを見て、警告・問い合わせ・参加者への連絡に対応します。スタートまでは操作サポートのまとめ役です。
・**総務担当**：会場、受付と名簿、フィニッシュ受付、撤収、お礼を受け持ちます。
・**当日スタッフ**：受付・スタート・フィニッシュ・巡回・写真チェックを手伝います。操作サポートは、アプリ担当から説明を受けた人が受け持ちます。

イベント当日運営チェックリスト・進行表【当日編 2/5：開場前・受付】

PHASE 1 当日 開場前 開催判断・スタッフ集合・イベントの公開とプレイ枠の確認・本部と会場の設営

開催を判断してスタッフを集め、当日の判断ルールをそろえてから、イベントの公開とプレイ枠、本部の運営コンソール、会場を整える段階

	#	時刻・区分	運営項目（タスク） & 実務ポイント・NaviTabi の操作・会場アナウンス（読み上げの例）	推奨担当
☐	1	集合前 （ ： ） 一般運営	**開催可否の判断と、中止・短縮のときの告知** STEP 0 ③ の担当者が決めた時刻に判断する。中止・短縮なら参加者が家を出る前に届くよう告知し、会場にも掲示する。	**統括責任者** 担当：
☐	2	S−150分 （ ： ） 一般運営 NaviTabi必須	**スタッフの集合と、権限・連絡手段・判断ルールの共有** 統括責任者が開催の判断を伝え、STEP 0 で決めた判断ルール、本部の連絡先、スタッフどうしの連絡手段を全員で確かめる。担当と連絡先は「08 スタッフ役割分担表」に書いておく（1ページ目の「当日の配置」）。アプリ担当は、操作サポートに入るスタッフと、説明の流れとよくある質問をおさらいする（「05 事前準備編」#20 で準備したもの）。 NaviTabi の操作 受付・監視・写真チェックを受け持つスタッフが運営者として追加され、アプリにログインしているかを確かめる（追加はスマホアプリから）。巡回するスタッフと最初のCPに立つスタッフは、ダッシュボードの上部にある「現在地を他の運営者と共有する」で現在地を共有する。運営メンバーが2人以上いると出て、所有者・管理者・運営者の誰でも使え、ほかの運営者がアプリのライブ地図で位置を見られる。止めなければ24時間で自動で止まり、共有中はその端末でプレイを始められない。	**統括責任者** **アプリ担当** 担当：
☐	3	S−150分 （ ： ） NaviTabi最重要	**イベントの公開・未処理の申請・プレイ枠の残りの確認** 参加者がイベントを開いて受付できる状態かを、開場の前に確かめる。プレイ枠が足りなくなったら誰が買うかを決めておく（代金は買った人のストアアカウントに請求され、約25%割引は主催者プランに入っている所有者・管理者が日本のストアで買うときだけ）。 NaviTabi の操作 イベントがまだ非公開なら、アプリのヘッダーの「公開する」で公開する（非公開のままでは参加受付QRとイベント表示QRが使えない）。本番カテゴリーの公開設定が「公開」になっているか、承認待ちの申請が残っていないか、アンケートを使うなら「プレイ終了時に開くURL」が入っているかを見る。ヘッダーのプレイ枠（n / m）で残りを確かめる（公開と設定の変更は所有者か管理者）。	**アプリ担当** 担当：
☐	4	S−140分 （ ： ） 一般運営 NaviTabi必須	**本部の設営と、運営コンソールの起動・通信の確認** 本部にPC・電源・通信を用意する。スタッフの現在地はWebの運営コンソールに出ないので、本部でもスマホかタブレットでアプリのライブ地図を開いておく。 NaviTabi の操作 本部のPCでWebの運営コンソールを開き、カテゴリーを「全カテゴリー」にする。計器と警告パネルが出るか、「データ更新が停止しています」「オフライン」の表示や、事前設定の警告バナー（エリアの図形が壊れている、など）が出ていないかを確かめる。出欠と名簿の修正はアプリかWebの参加者リストで行う。写真の判定・得点調整・強制終了などは運営コンソールでもできる。	**アプリ担当** **総務担当** 担当：
☐	5	S−140分 （ ： ） 条件付	**地図を伏せる場合の設定の確認（方式B1〜B3）** 地図を見せる時刻と、切り替える担当を確認しておく（手順は「05 事前準備編」4ページ目の「地図を作戦時間の開始まで伏せる手順」、切り替えは #12）。 NaviTabi の操作 参加者リストの「参加承認後」が「操作を許可しない」のままか、イベント設定の「ライブマップと結果リストを隠す」がオンかを確かめる。	**アプリ担当** 担当：
☐	6	S−140分 （ ： ） 一般運営 NaviTabi推奨	**受付・充電コーナー・練習コースの準備** 受付に参加受付QR（またはイベント表示QR）のPOPを貼り、スマホの充電コーナーと貸出用モバイルバッテリーを置く。スタート・フィニッシュと練習コースの位置が分かるように掲示する。	**総務担当** 担当：
☐	7	S−130分 （ ： ） 条件付	**スポットパンチQRの掲示と、ボーナスQRを渡した協力店舗の確認** スポットパンチQRを使うCPに掲示が済んでいるか、雨や風で外れていないかを確かめる。ボーナスQRを渡した協力店舗には、見せる条件と営業時間を改めて確認する。	**コース担当** 担当：

PHASE 2 当日 受付〜スタート 受付・端末の確認・地図の配布・競技説明・スタート

参加者を受け付けて端末の設定を確かめ、地図を配って競技の説明をしてから送り出す段階。スタート直後は問い合わせが集中する

	#	時刻・区分	運営項目（タスク） & 実務ポイント・NaviTabi の操作・会場アナウンス（読み上げの例）	推奨担当
☐	8	S−120分 （ ： ） NaviTabi必須	**受付（方式A・B1・B2・B3）と表示名・カテゴリーの確認** 開場して受付を始める。どの方式でも、表示名とカテゴリーが合っているかを確かめる。方式ごとの流れは1ページ目の「受付方式ごとの流れ」のとおり。 NaviTabi の操作 方式B1は参加受付QRを掲示し、方式B2はイベント番号を案内し、方式B3は参加者リストで承認する。参加受付QRの読み取りには通信が要るので、電波の弱い受付では読み取れた人から先に進めてもらう。表示名が未設定だとプレイ開始前に入力を求められる。 会場アナウンス 「受付の前にアプリを開いて、ログインしているか、最新版か、充電が足りているかをご確認ください。」	**総務担当** **当日スタッフ（受付）** 担当：
☐	9	S−120分 （ ： ） 一般運営 NaviTabi必須	**出欠の記録と名簿の照合** 出席・欠席を記録し、紙の名簿とも照合する。 NaviTabi の操作 出欠は参加者リストで記録する。承認・不在の記録・カテゴリーの変更はイベント運営者もできる（名簿の取り込みは管理者以上）。運営コンソールの「未帰還」は出席にした人を基準に数え、名簿と違うカテゴリーで走った人は帰っても未帰還に残るので、当日に走るカテゴリーを変える人がいたら、参加者リストでも同じに変える。	**総務担当** 担当：

NaviTabi ロゲイニング向け

イベント当日運営チェックリスト・進行表【当日編 3/5：端末の確認〜スタート】

PHASE 2 当日 受付〜スタート 受付・端末の確認・地図の配布・競技説明・スタート（続き）

	#	時刻・区分	運営項目（タスク） & 実務ポイント・NaviTabi の操作・会場アナウンス（読み上げの例）	推奨担当
☐	10	S−90分 （ ： ） NaviTabi必須	**参加者の端末の確認（ログイン・最新版・権限・充電）** ログイン済みか（ログインせずに始めると記録を本人と照合しにくい）、アプリが最新版か（ボーナスQR・組み合わせボーナスを使う大会では古いアプリは参加できない）、位置情報とカメラが許可されているか（位置情報は「常に許可」。iPhoneでは「常に」）、充電が足りているかを確かめる。 会場アナウンス 「位置情報は『常に許可』（iPhoneは『常に』）に、カメラは『許可』にしてください。」	当日スタッフ（操作サポート） 担当：
☐	11	S−90分 （ ： ） NaviTabi推奨	**練習コースで操作を試してもらう** 受付の近くでスタート→パンチ（撮影または通過音）→フィニッシュを試してもらい、権限の許可漏れや操作の迷いを先に解消する。 NaviTabi の操作 練習カテゴリー（CP2個以下・60分以下）はプレイ枠を使わない。地図を伏せている間は練習カテゴリーもプレイできない。 自動の一斉スタート：地図を伏せる大会では、練習は地図を配った後（#12、S−45分の後）に回す。 手動の一斉スタート・個別スタート：地図を伏せる大会では、スタートまで練習カテゴリーが使えないので、操作は口頭で説明する。	当日スタッフ（操作サポート） 担当：
☐	12	S−45分 （ ： ） 一般運営 条件付	**受付の締切と、紙の地図・CP一覧の配布、アプリの地図を見せる切り替え** 受付を締め切り、作戦時間の開始に合わせて紙の地図とCP一覧を配る。 NaviTabi の操作 地図を伏せていた場合は、同じ時刻に「参加承認後」を切り替える。 自動の一斉スタート：「プレイを許可」 手動の一斉スタート・個別スタート：「地図表示まで許可」（スタートのときに「プレイを許可」へ。#14・#15） 開いたままのカテゴリー画面は変わらないので、イベント画面からカテゴリーを開き直してもらう。 会場アナウンス 「地図をお配りします。」 地図を伏せていた大会：「アプリでは、イベントの画面に戻ってカテゴリーを開き直すと地図が見られます。」	総務担当 アプリ担当 担当：
☐	13	S−20分 （ ： ） 一般運営 NaviTabi必須	**競技説明（操作・ルール・救済・連絡先）** スタートとフィニッシュの操作、パンチ方式、立入禁止の場所と危険箇所、STEP 0 ⑤ の救済ルール（パンチできないときは標準カメラで撮って先へ進む、など）、本部の連絡先を伝える。NaviTabiのイベント内メッセージはプッシュ通知されないので、本部からの大事な連絡は電話か個別メッセージで行うことも伝える。 会場アナウンス 「制限時間は〇時間〇分です。制限時間を過ぎると、1分ごとに〇点の減点があります。フィニッシュは〇時〇分に閉めます。パンチできないときは、〇〇してください（STEP 0 ⑤ で決めた救済）。困ったときは本部の電話へ。アプリのイベント内メッセージはスマホに通知されないので、本部からの大事な連絡は電話でします。」	統括責任者 担当：
☐	14	S−5分 （ ： ） NaviTabi最重要	**スタート地点への誘導と、「プレイを許可」への切り替え（手動の一斉スタート）** 参加者をスタート地点へ誘導する。自動の一斉スタートは、開始5分前からプレイ画面を開いてスタート地点の近く（約250m以内）で待ってもらう。操作しなくても時刻に始まり、開始前はスタートボタンを押しても反応しない。 NaviTabi の操作 手動の一斉スタートで「地図表示まで許可」にしていたら、ここで「参加承認後」を「プレイを許可」へ切り替える。運営コンソールの「未スタート」の数を見る（名簿にいてまだ走っていない人の数で、欠席の人も入る）。 会場アナウンス 自動の一斉スタート：「プレイ画面を開いて、スタート地点の近くでお待ちください。ボタンを押さなくても、〇時〇分に自動で始まります。」 手動の一斉スタート：「スタート地点でお待ちください。号令に合わせてスタートボタンを押してください。」 手動の一斉スタートで地図を伏せていた大会：「アプリの設定を切り替えました。イベントの画面に戻って、カテゴリーを開き直してください。」	当日スタッフ（スタート） アプリ担当 担当：
☐	15	S （ ： ） NaviTabi最重要	**スタート** 手動の一斉スタートは号令をかけ、各自がスタート地点でスタートボタンを押す（計時と制限時間は押した時刻から）。自動の一斉スタートは、開始の時刻になったことを声で知らせる（アプリは操作なしで始まる）。個別スタートは順に送り出す。 NaviTabi の操作 個別スタートで「地図表示まで許可」にしていたら、送り出す前に「プレイを許可」へ切り替え、カテゴリーを開き直してもらう。個別スタートは、スタート地点でスタートボタンが有効になるかを見る。 会場アナウンス 「スタートです。」	統括責任者 当日スタッフ（スタート） 担当：
☐	16	S+5分 （ ： ） NaviTabi必須	**スタート直後の操作サポート** スタートできない人を手伝う。スタート直後は問い合わせが集中するので、スタート地点に操作サポートを残す。スタート地点から近く、多くの人が最初に通りそうなCPにもスタッフを置いておくと、パンチや写真の操作でつまずいた人をその場で助けられる。 NaviTabi の操作 自動の一斉スタートで、時刻から約1分を過ぎた人は手動でスタートする（計時は設定した時刻から）。どうしてもスタートできない人は4ページ目の「トラブル救済の早見表」のとおり。 会場アナウンス 自動の一斉スタートで遅れた人へ：「スタート地点でスタートボタンを押してください。計時は〇時〇分から数えています。」	当日スタッフ（操作サポート） 担当：

NaviTabi ロゲイニング向け

イベント当日運営チェックリスト・進行表【当日編 4/5：競技中の監視・トラブル救済】

PHASE 3 当日 競技中 警告の監視・参加者への連絡・トラブル救済・写真チェック・フィニッシュ受付

本部で運営コンソールの警告と進行を見ながら問い合わせに対応し、フィニッシュ受付を開けて、閉鎖までに戻れそうにない人を早めに見つける段階

	#	時刻・区分	運営項目（タスク） & 実務ポイント・NaviTabi の操作・会場アナウンス（読み上げの例）	推奨担当
☐	17	S+10分〜 （ ： ） NaviTabi必須	**運営コンソールの警告パネルの監視** スタート直後から見る。立入禁止エリア内、競技エリア外、位置の途絶（10分以上更新なし）、制限時間の超過と残り10分を知らせる（SOSは安全管理イベントだけ）。対応を始めたら「確認」を押す（本部の画面の整理で、参加者の記録は変わらない）。カテゴリーを絞り込んでいても、他のカテゴリーに未確認の警告があれば件数が出るので「全体を見る」で戻す。	アプリ担当（本部） 担当：
☐	18	S+10分〜 （ ： ） NaviTabi推奨	**進行の把握（未スタート・走行中・地図に出ない人）** 計器バーで未スタート・走行中・フィニッシュの人数を見る（「未スタート」は名簿にいてまだ走っていない人の数で、欠席の人も入る）。「常にライブトラッキングを有効にする」をオンにしていない大会では、ライブトラッキングをオフにしてスタートした人が地図に出ない（「位置非公開」）ので、そういう人には電話で確かめる。	アプリ担当（本部） 担当：
☐	19	S+10分〜 （ ： ） 一般運営 NaviTabi推奨	**参加者への連絡（個別メッセージ・電話）** 個別メッセージ（イベント設定で有効にした場合）は参加者にプッシュ通知で届く。まだやり取りのない参加者へ運営から送り始められるのはiOSアプリだけで、Androidでは参加者から先に送ってもらう必要がある。使うなら本部にiPhoneを1台置く。急ぐ連絡は電話を使う。	アプリ担当（本部） 担当：
☐	20	S+10分〜 （ ： ） NaviTabi必須	**問い合わせの切り分けとトラブル救済** 1人だけに起きているなら端末の設定や権限、複数人に同時に起きているなら通信・GPSの環境や、イベント・カテゴリーの設定を疑う。症状ごとの対応は「トラブル救済の早見表」のとおり。認めた救済は時刻・場所・内容を記録し、STEP 0 ⑤ の基準を全員に当てる。	アプリ担当 競技責任者 担当：
☐	21	S+10分〜 （ ： ） 一般運営 条件付	**巡回とCPの見回り** ライブの位置を参考に、危険箇所や遅れている参加者の近くを回る。ライブの位置には誤差と時刻のずれがあるので、電話と現地での確認を組み合わせる。スポットパンチQRや掲示物が外れていないかも見る。 NaviTabi の操作 スタッフどうしで現在地を共有していれば（#2）、本部はアプリのライブ地図で近くにいるスタッフを選んで向かわせられる。	コース担当 当日スタッフ 担当：
☐	22	S+10分〜 （ ： ） 条件付	**写真チェックを競技中から始める** 写真チェックはプレイ中の記録でも開けるので、届いた写真から承認・保留・却下を付けておくと終盤が楽になる。減点つきの却下と得点調整は、プレイ中に入れると参加者のアプリの更新で消えることがあるので、フィニッシュ後に行う（消えたときは削除・取り消しをせずサポートへ）。上位に入りそうな参加者から見る。	当日スタッフ（写真チェック） 担当：
☐	23	F−60分 （ ： ） 一般運営 NaviTabi推奨	**フィニッシュ受付を開ける** 紙の名簿と時計を用意し、戻ってきた人から帰還を記録する。 NaviTabi の操作 運営コンソールの「フィニッシュ」の数と、「未帰還」タブを見始める。	総務担当 当日スタッフ（フィニッシュ） 担当：
☐	24	F−30分 （ ： ） 一般運営 NaviTabi推奨	**フィニッシュ閉鎖に向けた確認と電話連絡** 閉鎖時刻までに戻れそうにない人、位置の更新が止まった人、エリアの外に出たまま戻らない人に電話する。連絡が取れない人は STEP 0 ⑦ の手順に移る。 NaviTabi の操作 ライブ地図で、走行中の人の位置と最後に届いた時刻を見る。イベント内メッセージはプッシュ通知されないので、残り時間の連絡には使わない。 会場アナウンス 会場で：「フィニッシュの閉鎖まで、あと30分です。」	アプリ担当（本部） 担当：

🧰 トラブル救済の早見表（認めるかどうかは STEP 0 ⑤ の基準で判断します）

症状	その場の対応	残す記録
スタートできない	スタート地点に十分近いか、位置情報が取れているかを見ます。どうしても反応しなければ、STEP 0 ⑤ に沿ってスタート地点のスキップを認めるかを決めます。	時刻と状況
パンチできない	CPに近づいているかを確かめます（現在地ボタンに減点・タイム加算・回数の上限を付けた大会では、押すよう指示しません）。反応しなければ標準カメラで撮って先へ進んでもらいます。STEP 0 ⑤ で認めていれば、本部から遠隔パンチもできます（1件ずつ、反映を確かめてから次を送ります）。	CP番号・時刻・写真
カメラが起動しない・写真が上がらない	パンチが記録されているかを先に見ます。写真はフィニッシュ後に結果画面の該当スポットから、端末内の写真を選んでアップロードできます。	写真
アプリが落ちた・電池切れ	アプリを起動し直してプレイを再開できるかを見ます。再開できなければ、紙の地図とCP一覧で戻ってもらいます。	最後に通ったCPと時刻
「最新バージョンが必要」と出る	アプリを更新してもらいます。更新できない人が出たら、大会としてボーナスQRを使い続けるかを判断します。作成済みのボーナスQRをすべて削除すると参加できるようになりますが、組み合わせボーナスはルールを消しても戻りません。	対象者と判断の内容
フィニッシュできない	フィニッシュに十分近いかを見ます。反応しなければ到着時刻を手で記録し、フィニッシュ後に#27の手順で直します。	到着時刻
エリアの警告が消えない	開けた場所へ移ってもらい、長く続くなら電話で現在地と状況を聞きます。	継続時間と対応

NaviTabi ロゲイニング向け

イベント当日運営チェックリスト・進行表【当日編 5/5：フィニッシュ〜表彰・撤収と終了後】

PHASE 4 当日 フィニッシュ〜表彰 フィニッシュの閉鎖・全員帰還の確認・記録の補正・表彰

フィニッシュを閉鎖して全員の帰還を確かめてから記録を補正し、結果を確定して表彰する段階

	#	時刻・区分	運営項目（タスク） & 実務ポイント・NaviTabi の操作・会場アナウンス（読み上げの例）	推奨担当
☐	25	F （ ： ） 一般運営 NaviTabi必須	**フィニッシュの閉鎖と帰還の記録** フィニッシュを閉鎖し、その後に戻った人も受け付ける。フィニッシュの操作ができたか（結果に完走が記録されたか）を確かめ、紙の名簿にも帰還を付ける。反応しなかった人は到着時刻を手で記録し、#27の手順で直す。 会場アナウンス 「〇時〇分で、フィニッシュを閉鎖しました。」	総務担当 当日スタッフ（フィニッシュ） 担当：
☐	26	F （ ： ） NaviTabi最重要	**全員の帰還の確認** DNFや競技中の表示でも実際は帰っていることがあるので、紙の名簿と対面で照合する。閉鎖を過ぎても戻らない人は STEP 0 ⑦ の手順に沿って電話し、捜索と通報を判断する。全員の帰還を確かめるまで、本部と捜索に要るスタッフを残す。 NaviTabi の操作 運営コンソールの「未帰還」タブを「全カテゴリー」にして、「全員の帰還を確認しました」が出るまで確かめる。受付を通らずに出走した人は、走っている間「名簿外」として出る。名簿と違うカテゴリーで走った人は帰っても未帰還に残るので、参加者リストでカテゴリーを直す。	アプリ担当 総務担当 担当：
☐	27	F＋15分 （ ： ） NaviTabi必須	**記録の補正（写真・エリア違反・得点調整・時刻・DNF）** 写真チェックは上位から終える。エリア違反は結果詳細の赤い軌跡と違反履歴で確かめ、STEP 0 ⑥ に沿って得点調整かDNFにする。得点調整には理由を入れる。STEP 0 ⑤ で認めたCPは訪問の追加で入れる。 NaviTabi の操作 補正はアプリの結果リストか運営コンソールで行い（「記録の補正」）、同じ人の記録を2台で同時に触らない。競技中のまま残った人は帰還を確かめてから強制終了し、完走と認めるなら「DNFから完走に変更」とフィニッシュ日時の修正で整える（日時を直せるのは個人プレイの記録だけ）。 会場アナウンス 「いまアプリに出ている順位は仮のものです。結果の確定まで、しばらくお待ちください。」	競技責任者 アプリ担当 担当：
☐	28	F＋45分 （ ： ） 一般運営 NaviTabi必須	**結果の確定と表彰** 表彰の前に、写真チェックと補正が終わったか、DNFの扱いがそろっているか、表示名に問題がないかを確かめる。補正の途中の結果で表彰するときはそう伝え、確定した結果の公開方法も案内する。 NaviTabi の操作 競技中のリーダーボードや運営コンソールの暫定順位は使わず、補正を終えた結果で順位を付ける（「順位の決まり方」）。 会場アナウンス 「表彰を始めます。」「結果は〇〇で、〇時ごろに公開します。」	統括責任者 担当：

PHASE 5 撤収・終了後 結果の公開・撤収・お礼と報告・振り返り

結果を公開してデータを保存し、全員の帰還を確かめた後に会場とCPを片付け、参加者と協力先にお礼と報告をして、次回に向けて振り返る段階

	#	時刻・区分	運営項目（タスク） & 実務ポイント・NaviTabi の操作・会場アナウンス（読み上げの例）	推奨担当
☐	29	F＋60分 （ ： ） NaviTabi必須	**結果の公開とデータの保存** 「ライブマップと結果リストを隠す」をオンにしていたら、STEP 0 ⑧ で決めた公開の時刻にオフに戻し（所有者か管理者）、アプリとWebで結果が見えることを確かめる。大会の後に新しいプレイが始まらないよう、カテゴリーをすべて「閲覧のみ」にする（所有者か管理者。コースと結果は見えたまま）。結果・リーダーボード・チーム結果・エントリーリストのCSVを書き出して保存する（主催者プラン）。	アプリ担当 担当：
☐	30	F＋60分 （ ： ） 一般運営	**会場とCPの撤収と、スタッフの現在地の共有の停止** 全員の帰還を確かめた後に撤収する。スポットパンチQRや掲示物を回収し、落とし物と貸出バッテリーの返却を確かめる。 NaviTabi の操作 「現在地を他の運営者と共有する」を止める（#2）。 会場アナウンス 「アンケートにご協力ください。本日はありがとうございました。」	運営スタッフ全員 担当：
☐	31	後日 （ ： ） 一般運営	**参加者と協力先へのお礼と報告** 参加者に結果の公開先とアンケートを案内する（「プレイ終了時に開くURL」にアンケートを設定していれば、プレイを終えたときに開く案内が出る）。協賛店舗・施設・自治体には参加人数と結果を報告する。	総務担当 担当：
☐	32	後日 （ ： ） 一般運営 NaviTabi推奨	**終了後のイベントの扱いと振り返り** カテゴリーを「閲覧のみ」にしていなければ、大会の後もプレイを始められる（#29）。コースと結果を見せる必要がなければイベントを非公開にし、使わないイベントはアーカイブする。問い合わせと補正の記録を残し、詰まった場所や案内の不足を次の準備に回す。組み合わせボーナスのルールは結果を確定した後に変えない。	統括責任者 担当：

🛠 記録の補正（アプリの結果リストか運営コンソールで）

- **写真チェック**：承認・保留・却下を付けます（減点はフィニッシュ後）。
- **得点調整・訪問の追加**：フィニッシュ後に行います（救済で認めたCPは訪問の追加で）。反映されなかった調整は、削除や入れ直しをせずサポートへ。
- **日時の修正**：フィニッシュ済みかDNFの個人プレイの記録だけ。タイム・遅刻減点・順位は計算し直されますが、自動で終了する時刻を超えてもDNFにはなりません。自動の一斉スタートのスタート日時は直しません。
- **完走とDNFの切り替え**：DNFにするときだけ確認が出ます。
- **プレイの強制終了**：走行中の記録だけ。DNFになり、再開できません。

🏆 順位の決まり方と、表彰・掲示の前に

- 順位は得点（遅刻減点と得点調整を反映した後）の高い順で、同点なら所要タイムの短い順です。
- 競技中のリーダーボードと運営コンソールの暫定順位には走行中の人も並び、コンソールの暫定得点にはクイズ・ボーナス・得点調整が入らないので、表彰には使いません。
- 表彰と掲示の順位は、写真チェックと補正を終えた結果で付け、DNFの人には順位を付けません。
- チームの記録はアプリでしか直せず、順位もアプリで見ます（Webの観戦画面は個人順位）。